



1928年(昭和三年)六月二日

午前十一時、東京在住の同門の受洗者、新渡戸稲造、廣井勇と自分と三人、之に加ふるに我等の兄分なる伊藤一隆、大島正健の両君を加え、総て五人、雨を冒して青山墓地に會し(次頁につづ)

大島正健
伊藤一隆
新渡戸稲造
廣井勇
大村金三